

40分授業午前5時間制

2026.10.1
雲井小学校

どんな学びになるのか？

- ①午前中の授業が5時間
- ②1コマが40分の授業
- ③20分の余白を使って、主体的に学ぶ

なぜ午前5時間制なのか？

①午前中の授業が5時間

午前中の時間帯は考える学びに適しています。1日の流れそのものを、子どもたちの成長に合う形に組み替えます。

なぜ午前5時間制なのか？

①午前中の授業が5時間

午後は、探究（創造・共創）に適しています。一日の流れの中で、子どもたちの「やってみたい」気持ちを生かせるようにします。

なぜ午前5時間制なのか？

①午前中の授業が5時間

これまでの日課

活動内容	時 間
朝の会	8:20 ~ 8:25
朝学習	8:25 ~ 8:35
1校時	8:35 ~ 9:20
2校時	9:25 ~ 10:10
長休み・移動	10:10 ~ 10:25
3校時	10:30 ~ 11:15
4校時	11:20 ~ 12:05
給食	12:05 ~ 12:40
屋休み	12:40 ~ 13:00
掃除	13:05 ~ 13:20
5校時	13:25 ~ 14:10
5時間の日下校	14:20
6校時	14:15 ~ 15:00
下校	15:20

このように
変わります

新しい日課 (40分授業・午前5時間)

活動内容	時 間
朝の会	8:20 ~ 8:30
1校時	8:30 ~ 9:10
2校時	9:15 ~ 9:55
3校時	10:00 ~ 10:40
長休み・移動	10:40 ~ 10:55
4校時	11:00 ~ 11:40
5校時	11:45 ~ 12:25
給食	12:25 ~ 13:00
屋休み	13:00 ~ 13:20
掃除	13:25 ~ 13:35
学びタイム	13:40 ~ 14:05
5時間の日下校	14:20
6校時	14:10 ~ 14:55
下校	15:10

試行期間の日課
では、朝学習は
ありません。

6時間目は
45分です。

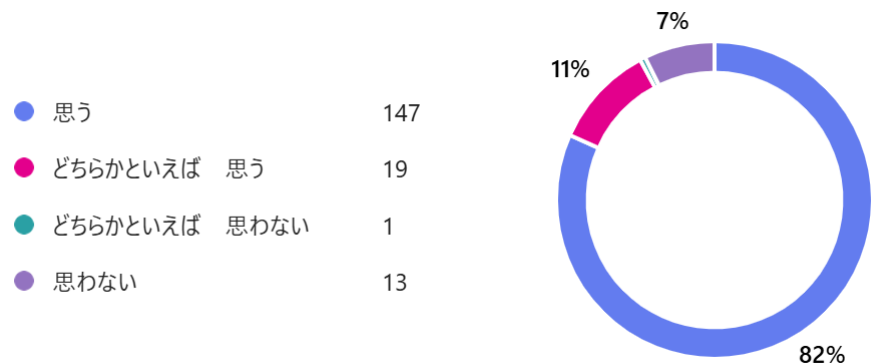
6時間授業の日は
10分早くなります！

なぜ午前5時間制なのか？

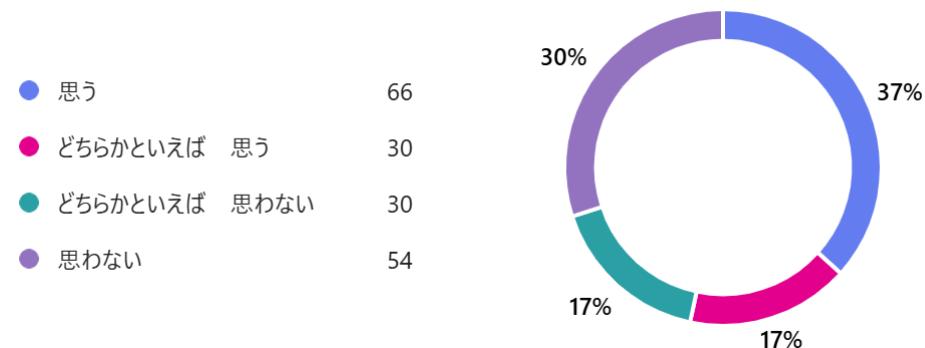
児童アンケートの結果（時程について）

昨年度、先行実施された信楽小学校のアンケート結果です。

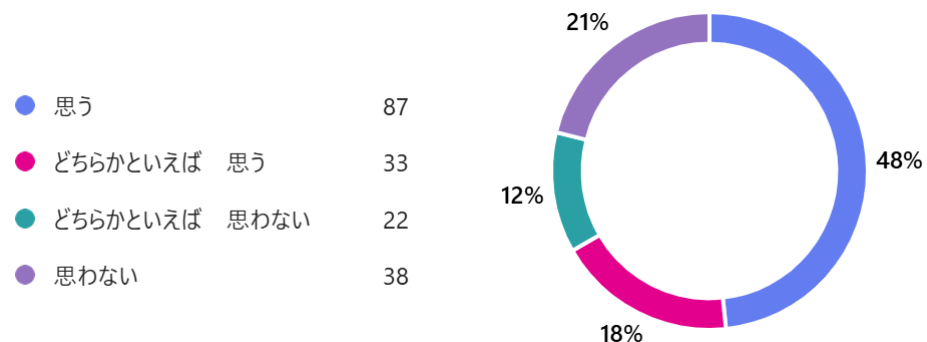
家に帰る時間が今よりも30分くらい早くなるとうれしく思う。



給食の時間は、10分おそくならない方がよいと思う。



家に帰る時間が今よりも早くなるのであれば 休み時間が 今よりも短くなってもいいと思う。

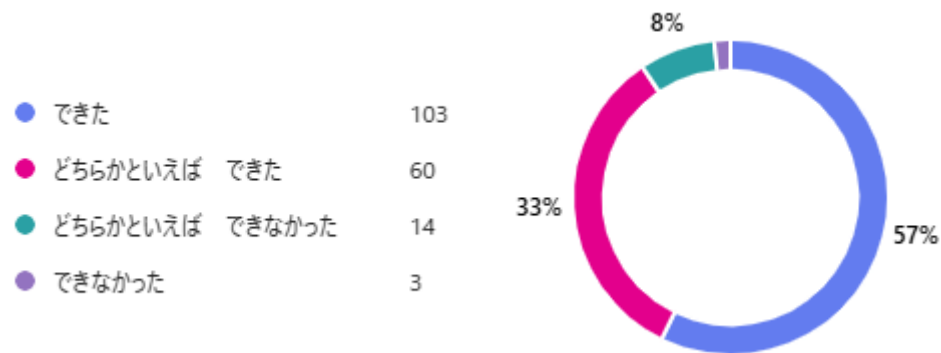


なぜ午前5時間制なのか？

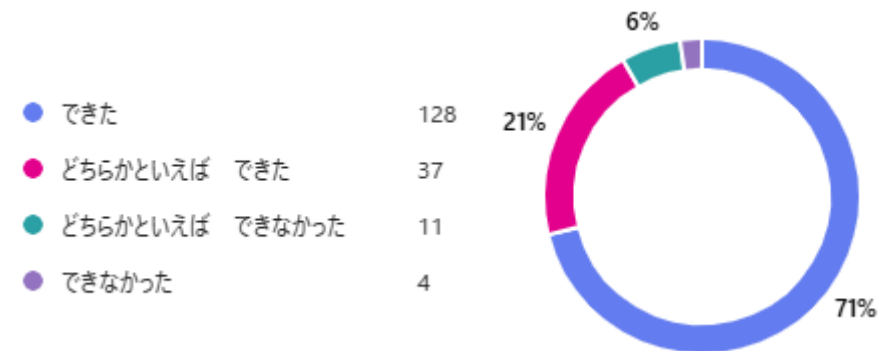
児童アンケートの結果（午前5時間について）

昨年度、先行実施された信楽小学校のアンケート結果です。

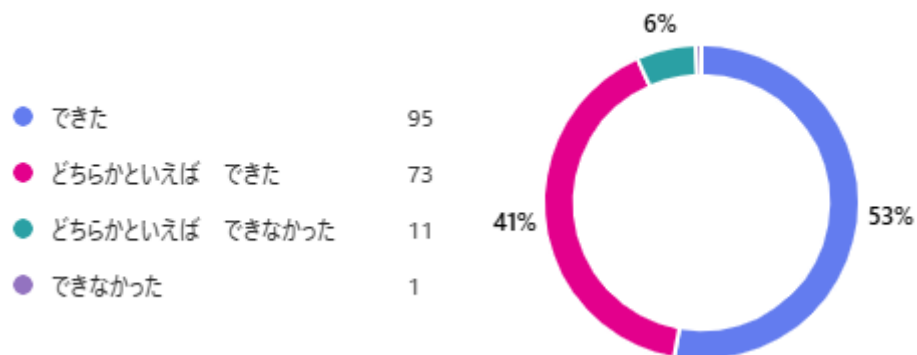
午前5時間授業は、午前4時間授業より集中して学ぶことができた。



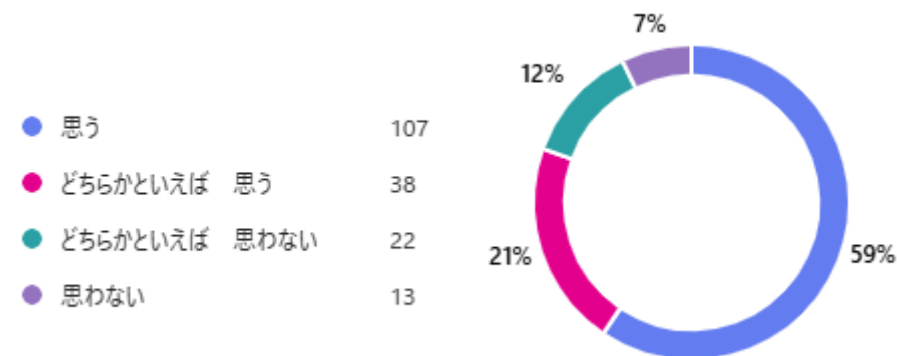
2 / 2 ~ 2 / 1 3の間に、午前5時間授業に慣れることができた。



午前5時間授業は、午前4時間授業より しっかり考えることができた。



午前4時間授業よりも、午前5時間授業の方がいいと思う。

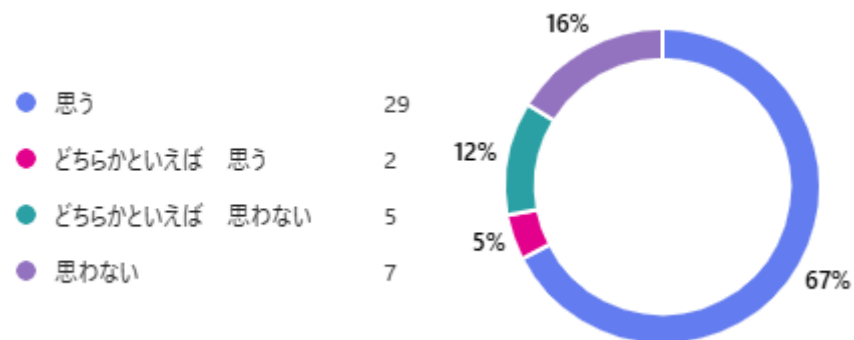


なぜ午前5時間制なのか？

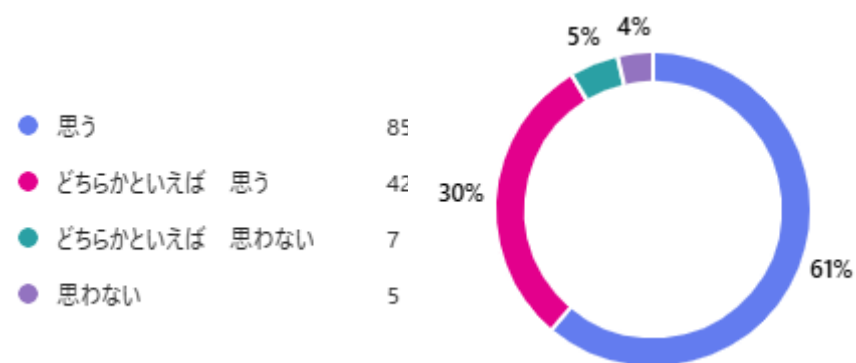
児童アンケートの結果（午後の学びについて）

昨年度、先行実施された信楽小学校のアンケート結果です。

（1・2年生だけの質問） 午後の授業は、ない方がよいと思う。



（3～6年生だけの質問） 午後の授業は、6校時だけの方がいいと思う。



なぜ、1コマが40分の授業なのか？

② 1コマが40分の授業

午前5時間制は、1コマ45分では実現ができません。1コマを40分にすることで実現可能になります。

なぜ、1コマが40分の授業なのか？

②1コマが40分の授業

子どもたちの集中力は30分程度と
言われています。30分で学び、残り10
分間でふり返りを行うことで学びをより
定着しやすくします。

なぜ、1コマが40分の授業なのか？

② 1コマが40分の授業

40分授業の流れ

30分間 学ぶ時間

見通す・考える・確かめる・学び合う

10分間 ふり返り

まとめ・次へつなぐ

なぜ、1コマが40分の授業なのか？

②1コマが40分の授業

<授業の具体例>

①導入(5分~7分)

前時の復習(低)、予習の確認(中高)→めあてづくり

②展開1・・・一人学び(低)、交流(中高)

展開2・・・全体交流

③終末・・・まとめ、ふり返し

なぜ、1コマが40分の授業なのか？

②1コマが40分の授業

<授業を進める際の留意点>

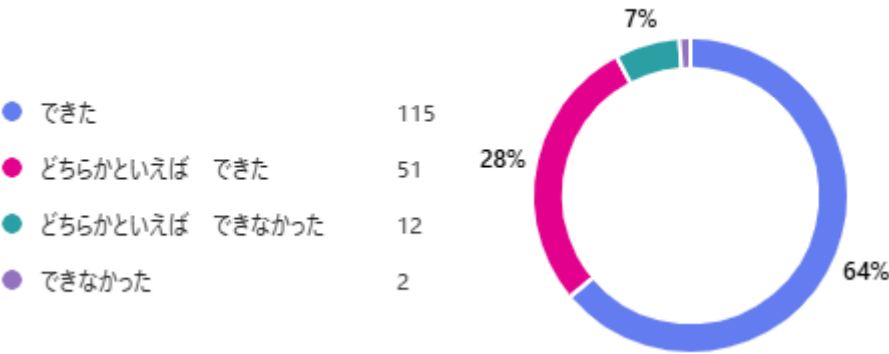
- ・予習は宿題等で行う。
- ・復習は、主に自主学習で行う。
- ・教材を工夫したり・具体物を使ったりすることで理解しやすく
- ・ICTを活用して、効率よく時間を使う
- ・学ぶ内容の精選する（育みたい力を明確にする）

なぜ、1コマが40分の授業なのか？

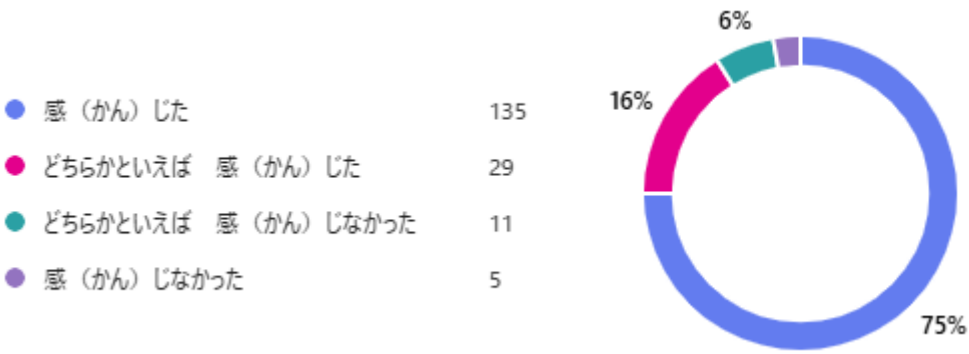
昨年度、先行実施された信楽小学校のアンケート結果です。

児童アンケートの結果（40分授業について）

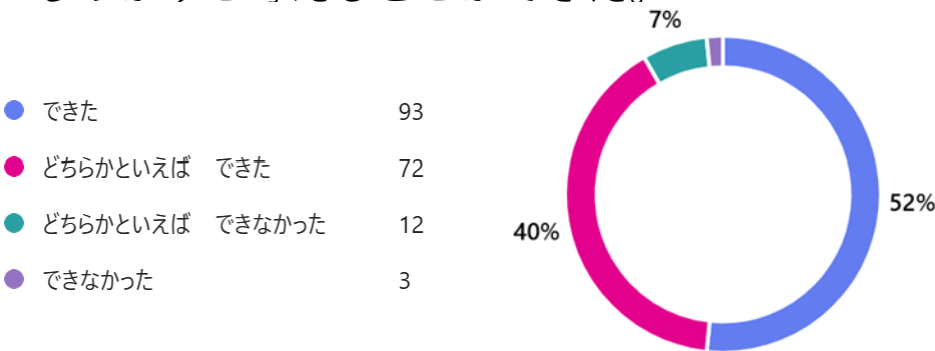
40分の授業は、45分の授業よりも集中できた。



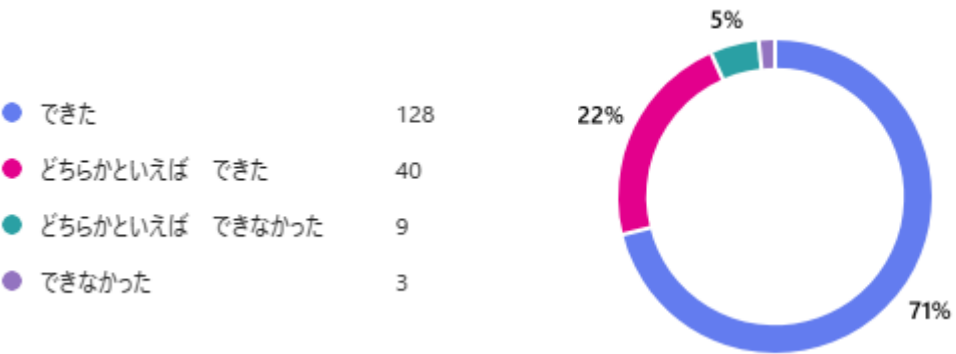
40分の授業は、ちょうどいい長さだと感じた。



40分の授業は45分の授業よりもしっかりと考えることができた。



2 / 2 ～ 2 / 1 3 の間に40分の授業に慣れることができた。

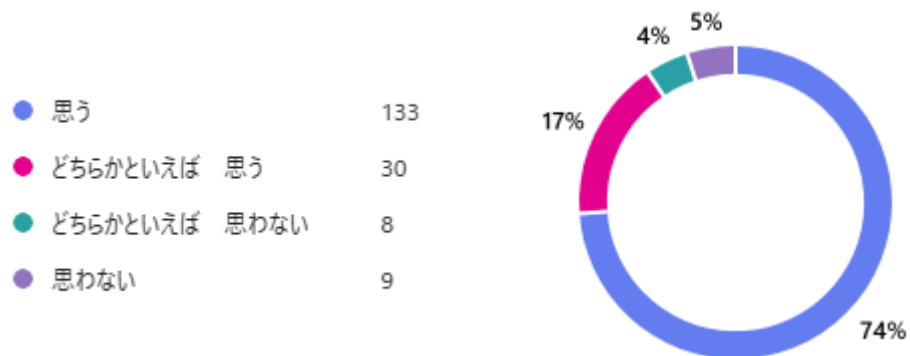


なぜ、1コマが40分の授業なのか？

児童アンケートの結果（40分授業について）

昨年度、先行実施された信楽小学校のアンケート結果です。

45分の授業より、40分の授業の方がいいと思う。



余白の25分で何を学ぶのか？

③25分の余白を使って、主体的に学ぶ

子ども自身が、「やってみたい」と思うことを選択して学ぶことによって、意欲的に学習に取り組むことができます。

余白の25分で何を学ぶのか？

③25分の余白を使って、主体的に学ぶ

探究的な学びやSTEAM教育を取り入れ、「好き（興味関心）」を育み、「得意」を生かすことで、主体的な学びとなります。

余白の25分で何を学ぶのか？

③25分の余白を使って、主体的に学ぶ

学びを調整する（見通し→行動→ふり返し）ことを繰り返すことによって、子ども自身の力で学びのデザインができるようになります。

余白の25分で何を学ぶのか？

③25分の余白を使って、主体的に学ぶ

まなびタイム【学びのデザイン】

自己選択学習

学年・教科・クラスの枠を超え、学びたいことを自分で選択します。

探究的な学習

興味関心を基にして、個人やグループで課題を主体的に解決します。

余白の25分で何を学ぶのか？

③25分の余白を使って、主体的に学ぶ

<自己選択学習の具体例>

- ・ドリルパーク
- ・読書
- ・NHK for school
- ・タイピング
- ・調べ学習
- ・ローマ字やアルファベット

余白の25分で何を学ぶのか？

③25分の余白を使って、主体的に学ぶ

<自己選択学習のポイント>

- ・学び方を伝える
- ・見とおしをもてるように、めあてをもつ
- ・ふりかえりの分析（次回のめあてなど）
- ・学習規律（遊ぶ時間ではない）の徹底

余白の25分で何を学ぶのか？

③25分の余白を使って、主体的に学ぶ

<探究的な学習>

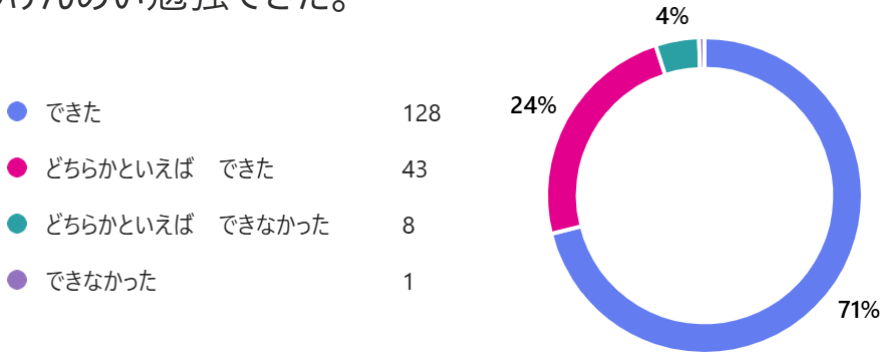
- ・各教科等の調べ学習・まとめの続き
- ・25分+45分で探究をする時間を確保
- ・子どもたちの興味関心に合わせて、内容を相談して決める。

余白の25分で何を学ぶのか？

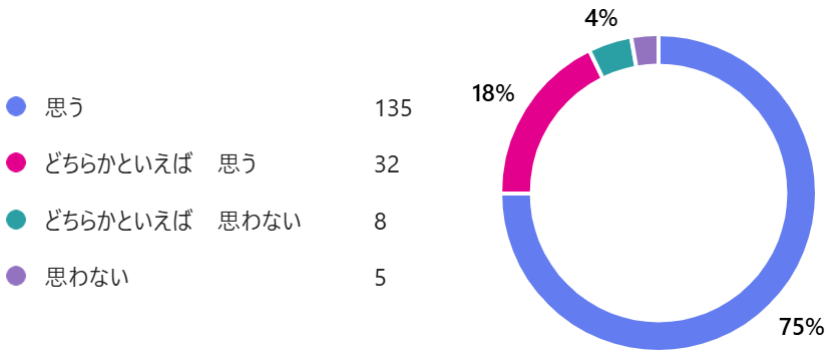
児童アンケートの結果（学びタイムについて）

昨年度、先行実施された信楽小学校のアンケート結果です。

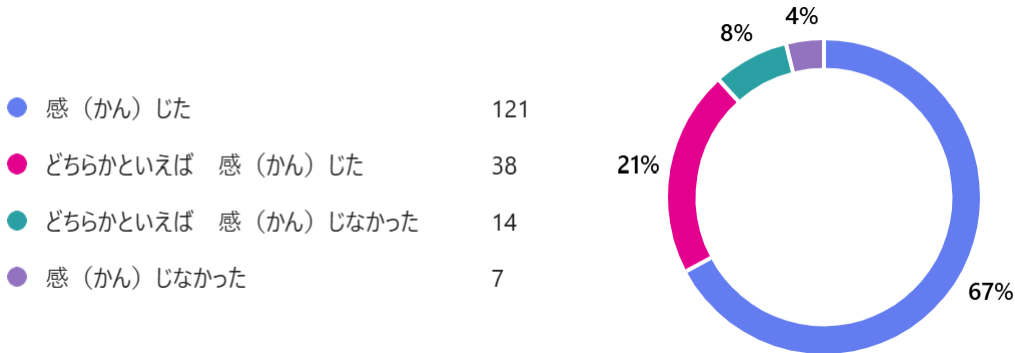
学びタイムに、じぶんで学ぶことを選んだり決めたりできると
いっしょうけんめい勉強できた。



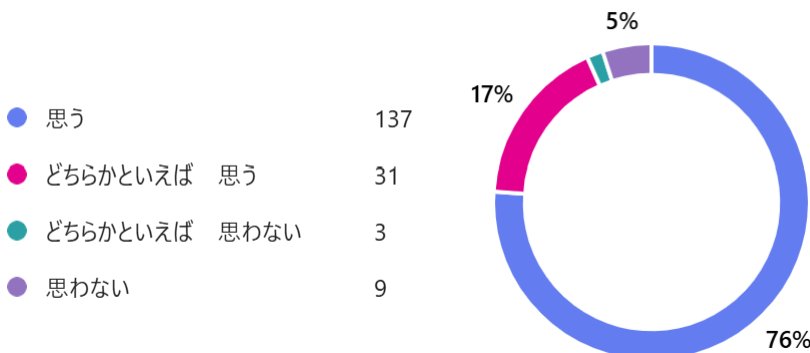
学びタイムは、たのしいと思う。



学びタイムは、いつもより時間がすぎるのが早いと感じた。



学びタイムは、これからもあったほうがいいと思う。

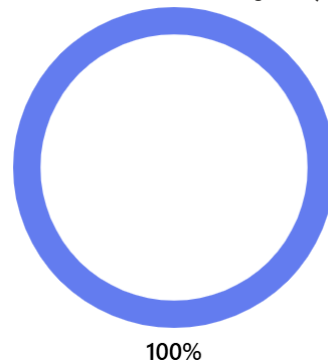


児童アンケートの結果（学びタイムについて）

昨年度、先行実施された信楽小学校のアンケート結果です。

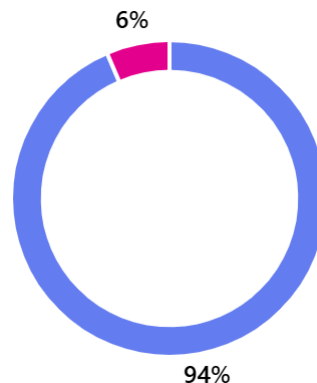
（３年生だけの質問）学びタイムに自分の知りたいことや、分かりたいことについて自由に調べる（活動する）時間が楽しいと思った。（マイ探究）

● 思った	30
● どちらかといえば 思った	0
● どちらかといえば 思わなかった	0
● 思わなかった	0



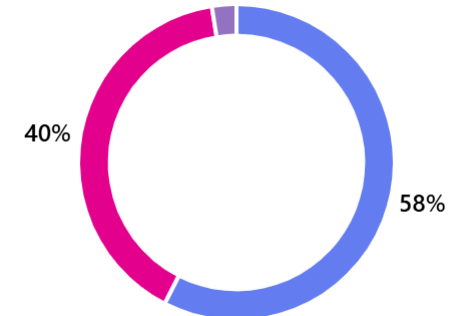
（３年生だけの質問）学びタイムに自分の知りたいことや、分かりたいことについて自由に調べる（活動する）時間がもっとあればいいと思う。（マイ探究）

● 思う	29
● どちらかといえば 思う	2
● どちらかといえば 思わなかった	0
● 思わなかった	0



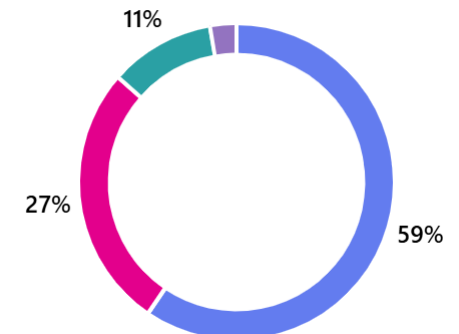
（６年生だけの質問）学びタイム＋総合的な学習の時間（６５分）の学習は 課題解決に向けて調べたり（話を聞く・見学に行くなどもふくみます）、考えたりする時間を十分にとることができた。

● できた	23
● どちらかといえば できた	16
● どちらかといえば できなかった	0
● できなかった	1



（６年生だけの質問）学びタイム＋総合的な学習の時間（６５分）の学習は、これからもあった方がよいと思う。

● 思う	
● どちらかといえば 思う	
● どちらかといえば 思わない	
● 思わない	

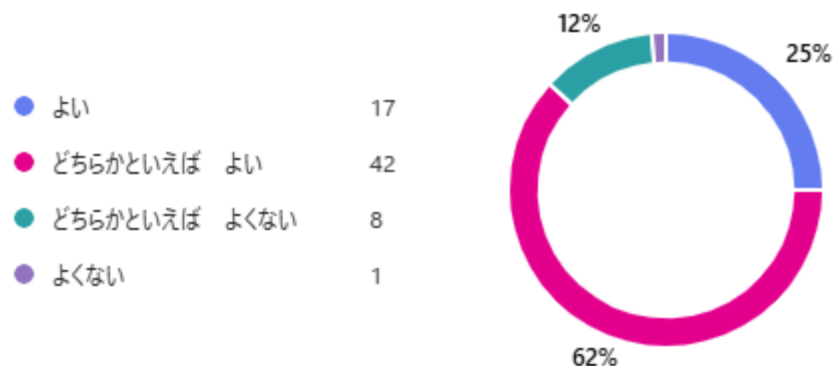


新しい学校への取組

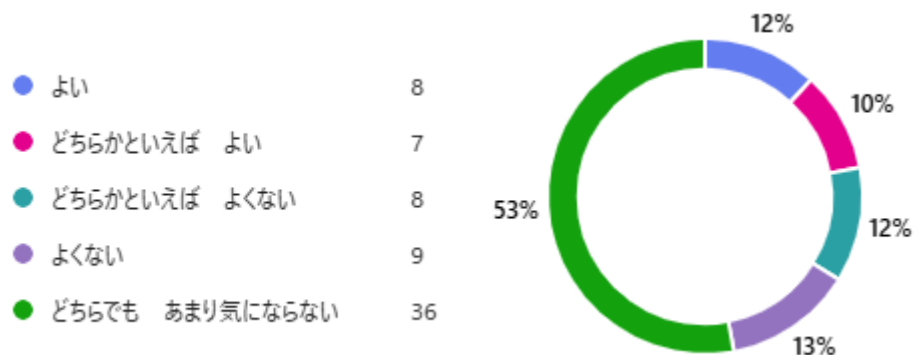
保護者アンケートの結果

昨年度、先行実施された信楽小学校のアンケート結果です。

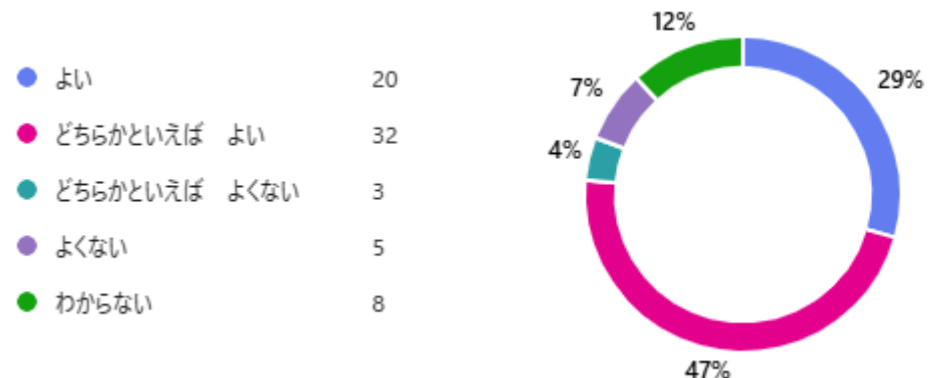
午前5時間制（40分授業）の取組について、どのように思われましたか。



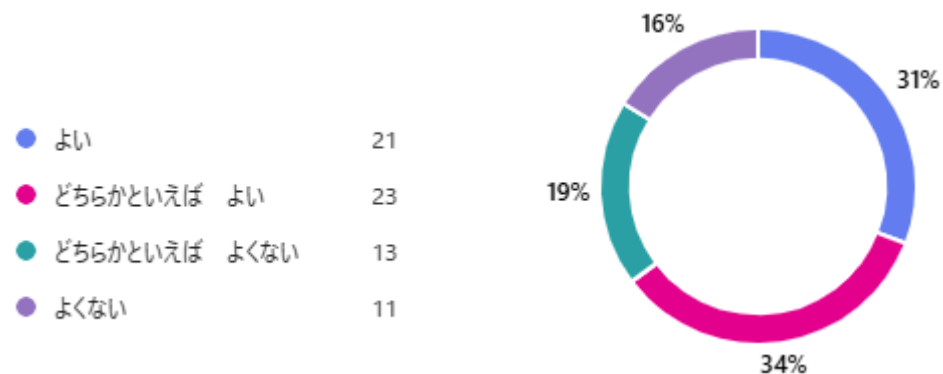
給食の時間が10分遅くなったことについて、どのように思われましたか。



学びタイム（子どもたちが学ぶことを自分で決めて取り組む、これまでもよりも長い時間を探究的な学びに使う等）を行うことについて、どのように思われましたか。



来年度以降、下校時刻が早くなる可能性があります。そのことについて、どのように思われますか。

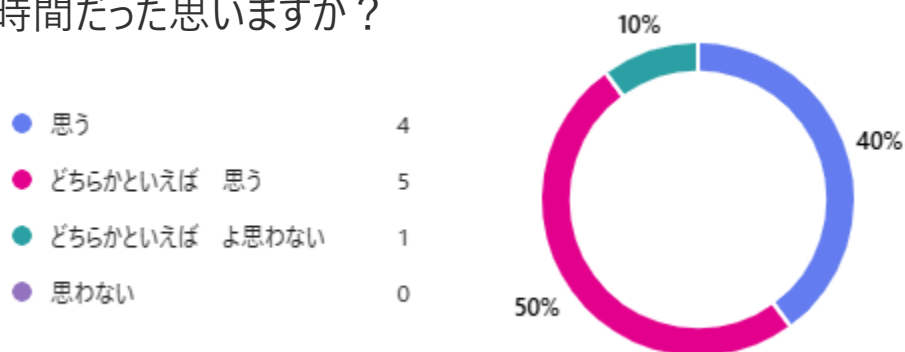


新しい学校への取組

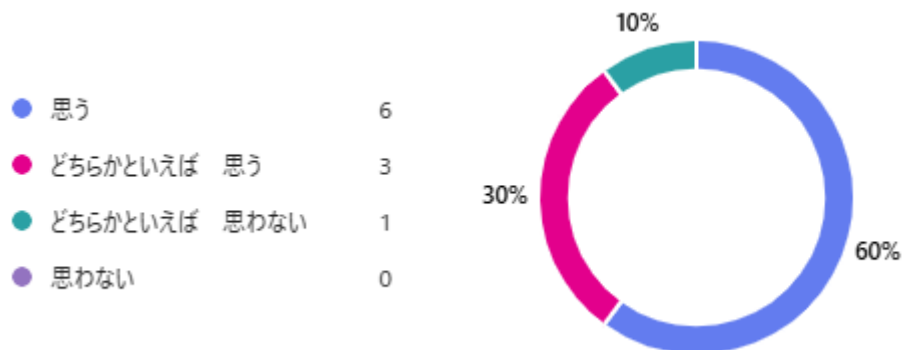
昨年度、先行実施された信楽小学校のアンケート結果です。

教員アンケートの結果

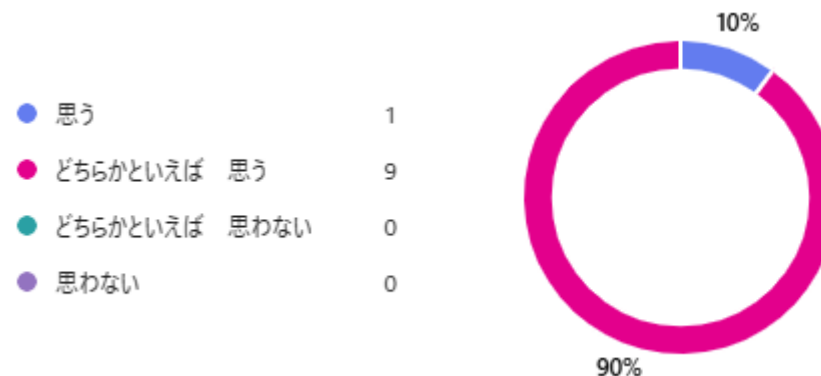
40分の授業は、子どもたちにとって集中して学びやすい時間だったと思いますか？



学びタイムは、子どもが主体的に学ぶ姿が見られる時間だと思いますか？



午前に5時間授業を行うことは、子どもたちにとって考える力（注意・記憶・判断などの認知機能）を発揮するために有効だと思いますか？



（「もし、子どもたちが早く帰ったら」を体験した先生方への質問です）放課後の時間が増えることで、学級事務や校務分掌の仕事、情報共有、研修に活用できると思う。

